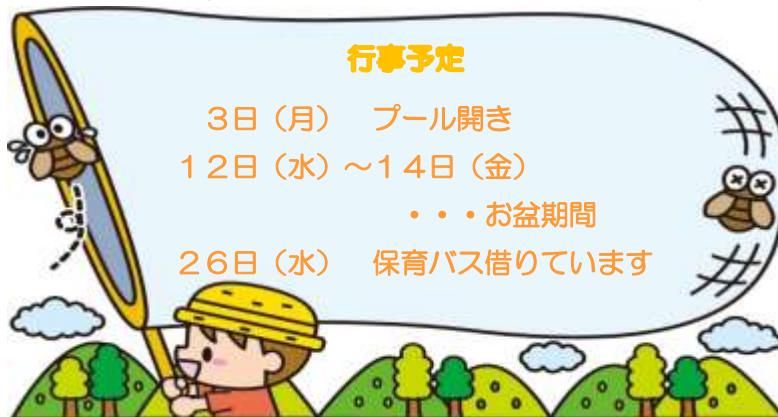




令和2年 8月4日 二条保育園発行

暑すぎるのは嫌だけれど、長い梅雨を抜け、やっと夏らしい暑い夏がやってきました。「待ちました！」とばかりに、園庭では水遊び・泥あそびに精を出す子どもたちです。水の心地よさ、泥の感触が子どもたちの五感を刺激して、さまざまな感情表出の手助けになってくれることを願っています。自ら働きかけ、形を変え、それらを介して友だちとやり取りするあそびは保育園ならではのですね。プール遊びも延期されていますが、またまた楽しみにしてもらえれば…と思っています。

夏の遊びを楽しむためには、体調をしっかりと見ていく必要があります。特に新入园児さんでは初めての集団生活ということで、コロナの加減で登園時期がずれ、感染症にかかる時期も少し遅めになっていますが、熱や鼻水、咳といった症状でしんどいながらも登園をされるお子さんもちらほら見られます。私たちは日中の様子しかわかりませんが、一日の大半を過ごしている、保育園でのお子さんの様子をしっかりと伝えていきますので、お家での様子と違うことがあっても、受診のタイミング・養生の必要性についてなど、耳を傾けていただければありがたいです。



5歳児月組の育てている畑の作物が鈴なりです。トマト・ピーマン・きゅうり等々夏野菜が毎日収穫されています。小さいゾウさんじょうろで地道に水やりをがんばった結果です。食べきれないほどの収穫で「さて、これで何かクッキングでも…」と月組で先日、ピザを作りました。前日から用意は始まっていて「明日は三角巾を持ってきてね」と担任が口頭で伝えます。年長児、さてどこまで伝わるかな？夕方にはお迎えのお母さんに「シャッカッキン要るしな！」と伝えています。お母さん「シャッカッキン？」…(三角巾のことです)ちゃんと伝わり、翌日はかっこよく身に着けています。

餃子の皮にチーズ、ピーマン・トマト・ケチャップをのせホットプレートで焼いて完成！「おいしい！ありがとう。なんでこんなにおいしいの？」と尋ねてみたところ、「だって、ピーマンの種をきれいにとったから」とうれしそうに教えてくれました。その後も他の子たちから、何度も何度も尋ねられ…(笑)ある子どもは「世界一おいしい！」と“自分でやったって”といった手ごたえを存分に感じているようでした。“こんなささやかなことでもこんなに喜んでくれて…(涙)”担任談。

コロナ禍でさまざまな制限がある中でも楽しいことはできるはず。やって行こう！